

## 平成28年度塩谷南那須の教育

Q4： 学校と地域が連携した活動にはどんな事例がありますか。また、地域連携教員はその活動にどのように関わっていますか。

はじめに

「地域連携教員」が各学校に設置されて3年目になります。各学校では、地域連携教員を中心に、地域と連携した特色ある学校づくりの推進に努めているところです。ここでは、平成27年度に実施された具体的な地域連携の事例と地域連携教員の関わりについて紹介します。

### 事例①

#### 小学校

(高根沢町)

地域連携教員  
＋  
地域コンシェルジュ  
町教育委員会

#### 【活動内容】

平成27年度から「地域コンシェルジュ」という名でコーディネーターを担う地域の方を学校に3名配置しました。地域の教育力を受け入れ地域と学校が連携・協働するために、1～2か月に1度、地域連携教員と地域コンシェルジュ、さらに町教育委員会生涯学習課の社会教育主事が参加して学校を会場に打合せを行い、学校からの要望や地域ボランティアの方の活動可能な内容について確認する時間を設けています。平成27年度、学校(学級担任)からの要望で実現したものはいくつかありますが、6年生社会の歴史の授業で、戦争を体験した方の話を聞くというのもその活動の一例です。



「戦時中の話」

#### 【地域連携教員の関わり】

学級担任等からの要望を聞いてコンシェルジュに相談したり、町教育委員会の社会教育主事との連絡調整をしたりしています。また、地域連携の内容を年間活動計画に位置付けたり、記録の保管をしたりしています。

### 事例②

#### 小学校

(那珂川町)

地域連携教員  
＋  
社会教育施設  
高等教育機関

#### 【活動内容】

地域に「唐御所横穴」という国指定史跡があります。和見・北向田から小口に至る西尾根に横穴墓群が散在し、その中で最も著名なものです。ここでは平成25年度から県外の大学生が春と夏に約20日間ずつ発掘調査に訪れていますが、そこに地元の小学6年生が社会科の一環として参加し、地域の歴史を学んでいます。そこでは小学生の小グループに大学生が入り、一緒に調査をしたり説明をしてくれたりします。また、この調査には「那珂川町なす風土記の丘資料館」の学芸員(那珂川町教育委員会に所属)も参加し、大学生の調査活動をサポートしたり小学生への説明をしたりしています。



「史跡調査」

#### 【地域連携教員の関わり】

遺跡の調査に訪れる大学の教授や「那珂川町なす風土記の丘資料館」の学芸員と日程や活動内容の確認を行っています。また、地域連携に関わるその他の活動については、担当職員が連絡を取るものも含めて年間活動計画への位置付けや記録の保管をしています。

### 事例③

#### 中学校

(さくら市)

地域連携教員  
＋  
市教育委員会

#### 【活動内容】

毎年秋に開催される市のイベント『ゆめ!さくら博』では、地域住民が日頃の学習成果を展示体験ブースとステージで発表していますが、そこには、たくさんの中학생も参加しています。生徒会では、生徒のアイデアによるブースを出店し、積極的に来場者との交流を行っています。また、市教育委員会生涯学習課からの「ユースボランティア」募集に応じて、毎年100名以上の生徒が参加し、来場者への対応やブースでの活動支援、後片付けなどに取り組んでいます。中學生が積極的に市のイベントや地域行事に参加することで、地域住民との世代を超えた交流が行われ、次代を担うリーダーとして期待されています。



「ゆめ!さくら博」

#### 【地域連携教員の関わり】

ユースボランティアの取りまとめは生涯学習担当、ブースの企画・出店は生徒会担当が関わり、校務分掌上でそれらの担当を統括する地域連携教員は学校の窓口と全体の把握、記録の保管等に努めるなど、役割分担をしながら活動しています。

おわりに

3つの事例の詳細については、塩谷南那須教育事務所ふれあい学習課か各市町教育委員会生涯学習課までお問い合わせください。